

議会だより

こうた

118号

2005年11月1日発行



秋まつりを彩る浦安の舞(鷺田神明宮)

2

校舎耐震補強など16年度決算認定

4

指定管理者制度導入

6

「将来の区行政、町の援助策は」など7人が一般質問

17

町の基本構想きまる

18

わが町を思う
「井の中の蛙」「いつまでも活気のある町で」



積極的に取り組んだ安全施策

豊坂小学校 校舎耐震補強など

一般会計決算額

()内は前年度比

歳入 128億4,389万円(7.8%増)

歳出 120億5,112万円(6.3%増)

一般会計の決算内容は、前年度と比較して、歳入で9億2,789万円(7.8%)増加し、歳出においても、7億1,427万円(6.3%)増加しました。町民税の個人分は雇用環境が緩やかな回復傾向の中で微増収でしたが、法人分は製薬会社および自動車関連企業の業績好調により大幅な増収となりました。町税全体としては「82億9,134万円」となり、5億5,911万円(7.2%)の増収となりました。

歳出では、消防庁舎建設、道路橋梁・街路整備、土地区画整理、小・中学校整備などにより、町民の暮らしを守るための各種事業が実施されました。

なお、幸田町の16年度決算歳出総額は、一般会計・

今定例会は、16年度の決算を審議するため特別委員会を設置し、一般会計のほか8つの特別会計などを慎重に審議した結果、各会計とも原案とおり認定しました。

決算の概要

特別・企業会計合わせて、195億7,856万円となりました。

安全施策の主なもの

- (1) 耐震補強・診断関係
・5842万円
豊坂・荻谷小学校舎など
- (2) 防災関係
・1425万円
防災マップ作成など
- (3) 防犯関係
・1924万円
防犯灯設置など

歳出の主なもの

- ・民生費
23億7,833万円



耐震補強の終わった豊坂小学校

- ・衛生費 (前年比8.2%減)
9億4,868万円
- ・総務費 (前年比9.0%減)
12億1,426万円
- ・農林水産業費 (前年費9.0%増)
8億9,297万円
- ・土木費 (前年比6.3%減)
17億7,209万円
- ・消防費 (前年比0.3%減)
9億3,177万円
- ・教育費 (前年比75.3%増)
16億6,173万円
- ・公債費 (前年比8.3%減)
17億9,844万円
- ・町民一人当りの歳出 (前年比54.3%増)
34万4,318円
人口35,000人として

平成16年度

好調な税収に支えられ 全ての事業は計画どおり

決算総額 196 億円

(一般会計及び特別・企業会計の歳出決算額の合計)

主「な」質「疑」

防災無線機の
配布は

希望者にもれない配
布を要望する。

A 昨年は80台の配布を予
定したところ、165人
の希望者があった。本年
度3月までに、希望者に
配布する。

河川のしゅん
せつ工事は

河川愛護運動をボラン
ティア任せで、町は何も
やっていないのでは。

A 草刈りと同時に河床の
しゅんせつ工事を予算化
していきたい。

どんな事業を
おこなったか

計画どおりの事業が進
捗したといわれるが。

A 建設事業の主なもの
は農村総合整備事業

(1) 2億1151万円

(2) 水路・道路の整備費用
・5498万円

(3) 消防ポンプ車購入事業
・4億2597万円

今年7月に移転開庁

(4) 道路橋梁・街路整備
・2億5825万円

橋梁の耐震補強など

(5) 相見・野場区画整理組
合補助事業

・2億700万円

(6) 両地区への補助金
土地改良事業補助

・1億3187万円

(7) 小・中学校整備事業
大井池改修など

・8825万円
校舎の耐震補強など

幸田町の
財政力は

16年度の財政力指数※
はどうなったか。

A 1・44で0・15ポイン
トの上昇を示した。

※財政力指数とは、財
政力の強弱を示す指
標の1つで、この指
数が1以上の団体は
財政力が豊かである
といわれている。



防災無線機の電池は毎年取り替えて

特別会計などの決算状況

単位：万円

会 計 名			歳 入	歳 出	差 引
特 別 会 計	土 地 取 得		5億6,282万円	5億6,282万円	0
	国 民 健 康 保 険		21億9,505万円	20億7,350万円	1億2,155万円
	老 人 保 健		19億7,874万円	19億7,057万円	817万円
	介 護 保 険		8億7,077万円	8億6,435万円	642万円
	通所介護サービス		954万円	954万円	0
	農業集落排水事業		3億5,144万円	3億4,488万円	656万円
	下 水 道 事 業		9億2,524万円	9億1,188万円	1,336万円
企 業 会 計	水道事業 会計	収益的収支	6億2,112万円	5億6,541万円	5,571万円
		資本的収支	1億6,056万円	2億2,449万円	※▲6,393万円

*不足する額は損益勘定留保資金などで補填した。
*企業会計のみ税抜き

9月 定例会のあらまし

9月定例会は、9月5日に招集され、30日までの26日間の会期で開かれました。任期満了にともなう教育委員会委員の任命をはじめ人事案件2件、幸田町基本構想についてなど22件、補正予算関係8件、16年度決算認定9会計の議案が上程され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

その他請願1件、陳情4件を審議し、請願と陳情2件を採択しました。

議員提出議案として、意見書の提出2件が提案され、1件を可決しました。

一般質問では、7人が当面する町政の問題をただしました。

指定管理者制度導入 町民会館など6施設

来年
4月から

地方自治法の一部改正によって、平成18年9月までに、公の施設の管理運営を直営管理か指定管理者でおこなうのか、二者択一することになりました。

これを受け、指定管理者制度※を導入する6施設と、直営管理の64施設の手続条例が改正されます。

住民福祉の増進は

公の施設の目的であり指定管理者の選定時に申請の条件で明確にする。

利用者・住民参加は

協定書に、運営委員会の設置を盛り込む。

コミュニティホームの

直営化でどう変わるのか。

町の責任で管理運営するが、区に業務委託しこれまでどおりの使い方

ある。

維持管理費用の負担割合は

今までどおりの負担割合である。

指定管理者制度を導入する施設

- ・幸田町民会館
- ・幸田町立図書館
- ・幸田町民プール
- ・ハッピーネス・ヒル幸田
- ・幸田町高齢者生きがいセンター
- ・高齢者ふれあいプラザ

※指定管理者制度とは、公の施設管理を従来は地方公共団体などでなくてはならなかったが民間でも議会で指定を受ければ管理できる制度。



コスモスに囲まれたハッピーネス・ヒル幸田

◆人事案件◆

教育長・齋藤智計氏
固定資産評価審査委員会委員・岩瀬喜久雄氏の任期満了にともない次の両氏を選任同意しました。

・教育委員会委員

内田 浩氏（新任・萩）

（任期4年）

・固定資産評価審査委員会委員

稲吉弘之氏（新任・逆川）

（任期3年）

（全員賛成で可決）

教育長に内田氏



内田 浩氏

教育長の齋藤智計氏が平成17年10月4日に、任期満了で退任。後任として、幸田町臨時教育委員会で、内田浩氏（58歳）が教育長に任命されました。



整備された駅南駐車場

駅南駐車場の整備など8
会計の補正予算議案が上程
され、いずれも原案どおり
全員賛成で可決しました。

9月 補正予算

一般会計

3億1548万円

増額

こんな質疑がありました

Q 駅西駐車場・駐輪場は
明るくなるか。

A 水銀灯を3基増設する

Q 保育所民営化検討委員
会とは。

A 来年の3月末まで、民
間活力、行政効率、保育
サービスの向上などに
ついて、町立保育所の方向
を検討する。

請願・陳情などの審議結果

◆請願

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小に関する請願書
(全員賛成で採択)

◆陳情

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の採択を求める陳情書
(全員賛成で採択)
- ・国の責任で30人以下学級の実現を求める意見書の採択を求める陳情書
(反対17賛成3で不採択)
- ・教育基本法の改正でなくその理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情書
(反対17賛成3で不採択)
- ・地方の財政力を強化し、義務教育費国庫負担制度を維持することを求める意見書の提出についての陳情書
(全員賛成で採択)

◆議員提出議案

- ・義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小を求める意見書の提出について
(全員賛成で可決)
- ・アスベスト健康被害対策を求める意見書の提出について
(反対12賛成8で否決)

会計別補正予算

一般会計	3億1548万円
土地取得特別会計	352万円
国民健康保険特別会計	4467万円
老人保健特別会計	2747万円
介護保険特別会計 (財源の変更)	0円
農業集落排水事業特別会計 (財源の変更)	0円
下水道事業特別会計 (財源の変更)	0円
水道事業会計	4906万円
収益的支出	1025万円

主な追加予算

● 駅西駐輪場電気修繕工事	50万円
● 都市公園等整備	1200万円
● 徒歩帰宅支援ルートマップ作成	80万円
● 警戒宣言発令後の帰宅困難者の帰宅ルートマップの費用	120万円
● 住民広場等整備	120万円
● 生活道路整備	3000万円
● 町民要望に応える生活道路整備などの費用	1650万円
● 旧消防庁舎2・3階に相談室を移転する費用	75万円
● 教育相談室移転	7011万円
● 借地を買収する費用	7011万円
● 旧消防庁舎用地購入	7011万円
● ベンチの設置などの費用	7011万円
● 中央公園のあずまやとベンチの設置などの費用	7011万円

町づくりの 考えは？

ここが聞きたい



光明寺川を癒^{いや}しの川に 植樹で景観づくり



羽根淵保博 議員

- 問** 町民会館や図書館・町民プールの関連施設である親水ゾーンの浄化と光明寺川の改修などについて問う。
- (1) 親水ゾーンの現状の問題点と利用の実態は、どのように把握しているか。
- (2) 地域再生計画の資料に光明寺川への親水ゾーンの設置とあるが、多自然型河川をめざした改修計画などがあるのか。
- (3) この地域には「光明寺川を美しくする会」があるが、



清掃中の光明寺川親水ゾーン

り、親水ゾーンの清掃や堤防の草刈などおこなっているが、資材などの支援はできないか。

建設部長 (1) 護岸清掃は、おこなわれているが、自然植物や、魚の生息などの環境にはなっていない。

今後、ハッピーネス・ヒル幸田施設全体で、検討していく。

(2) 水と触れ合う緑住都市に向けて、推進する事業であり、新たな改修計画ではない。

光明寺川左岸は、農道を拡幅し樹木を植え、景観づくりをはかっていく。

(3) 清掃美化活動を通じて、地域の愛着を深め、利用者への環境意識も高められる。制度は、今後検討していく。

神社森・屋敷
森などの
保全を

問 寺や神社の森をはじめ旧集落の屋敷いわゆる屋敷森にあった大木は、中心集落や点在集落の緑地が激減していると思われる。

今ある緑地や大木は、将来のために大切に保全して新しい緑地や樹林を計画的に造りだしていくことが必要ではないか。

(1) 既往集落の緑の激減について、その実態把握を

環境参事 (1) 平成15年に神社仏閣を中心とした動植物の調査はあったが、屋敷森や寺、神社の巨木は、その伐採状況などの実態把握はおこなっていない。

(2) 自然環境の保全は大切である。

町民の意識啓発に努め、所有者にその保全の協力を要請していく。

条例化などは、今後の課題と考えている。

町民の意識
啓発に
努める

(2) おこなっているか。

樹林の保全や保護樹木を保全する緑化条例制定の考えを問う。



伊藤宗次 議員

耐震改修費補助の増額を 現行の支援策で推進する

問 昭和56年5月以前に建てられた町内の木造住宅は3878棟で全体の40%を占め、耐震診断無料の対象で診断件数は272件(8月末)と少ない。

耐震改修費補助を受けての改修は6件にすぎない。県は、無料診断を本年度改修費補助制度は来年度で打ち切る方針だ。継続を県に要請し、町30万円の改修費補助額を田原市なみに、100万円に増額を。

家具転倒防止金具を無料で取付ける事業を岡崎市なみの対象者で実施すべきだ。

建設部長

耐震診断は、平成17年度終了予定を、18年度も同様事業推進できるように要望する。耐震改修は、県の補助制度の延長を強く求めている。

耐震改修費補助額は、県下66市町村の内、63市町村が30万円補助であり、県と合わせ60万円の限度額である。今後も現行どおりの支援策で推進していく。

福祉部長

幸田町家具転倒防止金具の取付支援事業というような要綱をつく

り、来年度にむけ支援していきたい。対象者は、今後検討していく。

子育て支援センターの増築を

問 菱池保育園に併設される子育て支援センターは、子育ての悩みなどを持つ親のつながりや交流、保育士の支援などの活動の場なのに、畳10帖ほどの広さのため、来館した親子が狭すぎて帰られる実態がある。

支援活動がさらに充実できるように増築を。増築に必要な用地は確保できる。幸田保育園プールは、2番目に古く、温水シャワーもない。更新を。

駐車場も未整備で砂ボコリで周辺住民に迷惑かけている。

水たまりのできない、排水性舗装で整備を。

増築はしない

福祉部長

子育て支援センターは、建設当時、子育ての相談を1日10人ほどと想定していたが、現在では1日約40人が利用され、14グループの子育てサークル

がある。今後は増築ではなく、上六栗保育園を、サークル活動の場としての利用をできるように考えていく。

幸田保育園プールは、今後、老朽化の状況をよく見て検討していく。

駐車場は、保育園の全体を考え、優先順に対応していく。



親子でにぎわう子育て支援センター

菱池保育園の運動場を広げて

拡張は考えていない



丸山千代子 議員

問 定員150人で移転改築した菱池保育園は、現在194人。幸田町で一番大きい保育園規模となった。

しかし、屋外運動場は狭く、他の保育園と比較しても最低である。

運動会ではひときわ狭さが目立つ。

防災広場に10m広げるとどの位の面積が確保できるのか。

子どもたちが、のびのび遊ぶことができるように屋外運動場の拡張をすべきではないか。

町長

菱池保育園の園庭は、運動会の際は心配であるが、平常の園の管理、子どもたちの遊ぶ環境からすると問題はない。運動会の際には、となりの防災広場の活用をお願いしたい。



菱池保育園の運動場

面積については、いろいろな条件を考えると200㎡位と思う。1年に1回の

ために拡張することは考えていない。

介護保険の
減免制度を
充実して

負担の軽減
を検討して
いく

問

軽度の人介護サービスを切り捨て、施設利用者に大幅な負担増を押しつける介護保険の改悪が横行された。

しかも、10月からは施設利用者にホテルコストが導入され、年金額を超える負担増となるなど、高齢者負担を強める内容である。

しかし、軽度者の家事援助を「原則廃止」にすることなどの具体化はこれからであり、必要なサービスは取り上げない立場に立つべきである。金の切れ目が介護の切れ目にならないための措置と、幸田町独自の減免・救済制度の確立を。

福祉部長

介護保険法の一部改正は予防重視型のシステムの転換というのが今回の改正の大きな内容である。

値上げや、介護保険の対象外となるものもある。

ショートステイの低所得者に対する補足給付を検討している。

軽度者、家事援助の一律カットがないように、利用者の健康状態、生活機能把握し適正なサービス提供をする。

総合的に判断して負担の軽減を検討していく。



水野千代子 議員

自動体外式除細動器の設置を 設置に向けて取り組む

問 自動体外式除細動器（AED）とは、心肺停止患者に電気ショックを与え機能回復をはかる医療機器である。

AEDは平成16年7月、医師や救急救命士などだけでなく、一般の人でも使用が可能となる。

全国で年間2〜3万人が心臓突然死で死亡していると推定され、助かるチャンスは1分経過することに約10%ずつ失われることから、一刻も早いAEDの使用が必須となる。

学校・公共施設などに、AEDの設置を提案する。

消防長 AEDは設置していないが、心肺停止者の救命率向上のため、啓発や設置に向けた取り組みをしている。

AEDの普及を見込み、平成16年から講習用機器の購入や救命講習会を実施している。町民の救命率向上に役立つよう努めていく。公共施設への設置は県からも指導があり、今後は町の施設、企業などにも設置に向けた取り組みをしていく。

内部障害者の啓発マークの設置を

問 心臓や腎臓など体内の内部に疾患がある内部障害者は、身体障害者の26・2%を占めている。

外見では健常者と変わらないため、日常生活でさまざまな誤解を受けやすく、こうした現状を改めようと、内部障害者の団体が、周囲に視覚的に示す啓発マーク「ハート・プラス」を作成する。

内部障害者への理解と支援のために、福祉介護課窓口などに「ハート・プラス」の表示板設置、広報にマークの掲載を提案する。

広報などでPRを検討する

福祉部長 幸田町の内部障害者数は213人であり



消防署員によるAED講習会

障害者全体の25・4%を占めている。身体障害者マークは8つほどあり、全部が認知されることはたいへん困難である。

関係団体の協力をえて広報などで広く町民にPRを検討していく。

HEART・PLUS

内部障害者に理解を深める

HEART・PLUS

<http://www.normanet.ne.jp/~h-plus/>
Copyright (C) 2004 heart plus mark project. All rights reserved.

震災時の飲料水に井戸の利用を

未使用井戸の利用を検討



鈴木博司 議員

問

東海地震などの大震災や近年の異常気象では、いつ発生するかわからないダムの漏水による断水時の飲料水や生活用水の確保は、住民の身近にある井戸水の利用が最も有効な施策だと思いが町の考えを問う。

- (1) 現在町内には数千戸の井戸があると思われる。水道の普及により未使用の井戸がかなりあると思われるが、非常時のために井戸の確保と利用促進をはかる施策を安全対策室で考えたかどうか。
- (2) 水質検査の依頼を保健環境課で受付けられないか。

環境参事

(1) 現在井戸水を利用している世帯は427戸ある。未使用井戸が相当数あると思うが、実数は把握していない。

安全参事

大草の水源と旧三菱レイヨンの井戸活用を検討したい。



桜坂区にあるせせらぎゾーンの井戸

環境参事

(2) 飲料水の検査は10項目について7500円で業者に委託している。手続きは保健環境課で容器を受け取り、採取後窓口へ届けばよい。

医療費補助事業の拡大を

問

インフルエンザ予防接種の補助事業は、65歳以上の高齢者を対象に実施されている。本町の場合、岡崎市医師会の一部の医院が指定医になっている。

- かかりつけ医が指定医以外の場合、各々の理由で受診時に自己負担で接種を受ける例が多くみられる。指定医はどのような基準で決めているのかを問う。
- (1) 岡崎市医師会以外では指定医になぜできないか。
- (2) 指定医以外で接種を受けた場合、住民の請求で補助金の還付を受けられるようにならないか。

福祉部長

- 高齢者のインフルエンザ予防接種は岡崎市医師会と委託契約し、平成16年度は4563円の統一単価で依頼している。
- (1) 岡崎市医師会以外の医療機関で接種する場合、毎年医療機関ごとに委託契約を結ぶことになり、単価もさまざまで難しい。
- (2) 還付金方式は事務的対応が大変であり、現行どおりでお願いしたい。

現行どおりでお願いしたい



成瀬克己 議員

将来の区行政、町の援助策は 区長会で研究協議していく



親睦を深めるコミュニティスポーツ大会



区民総出の河川草刈り作業

問 幸田町も都市化が進む中で、①区費の納入拒否、②区行事やコミュニティ活動への不参加、③個人情報保護法による情報入手の困難さ等々、区の行政運営上大なり小なり各地区で問題がでてきた。

コミュニティの重要性は防犯・防災など、論を待たないが、将来を思う時コ

ミュニティーの崩壊や町行政運営への影響が心配される。「区の行政は区長に任せてある」といわず、これからの幸田町を思い、町当局として、取るべき方策について問う。

総務部長 区費の納入拒否は、区行政への無関心を反映するもので憂慮している。区は任意団体であり、区費の強制はできないので、根強くお願いしていただきたい。

係など地域のコミュニティの形成は、自主財源で賄うことが望ましいので、区への加入・区費徴収に努力されたい。

個人情報提供はケースごとに適切な判断により対応する。

区行政への援助策は、区長会などの場で研究協議をしていく。

県道拡幅Aコープ以北の対応は

熊野神社付近までを拡幅整備



清水正幸 議員

- 問** 役場北信号より、Aコープ信号までの拡幅も予定どおり完了し、整然とした町並みに変身、多くの地権者のご協力と、国費県費の取り込み対応のお陰、Aコープ信号以北の対応は、
- (1) 2期事業の概要は、
 - (2) 事業区間、期間、事業費
 - (3) 野場横落線との関連もあると考えるが、県道整備のポイントは、
 - (4) 県道拡幅に関連して、生活道路拡幅要望（地権者の拡幅同意済）の出さ
 - (5) れている路線の対応は、

建設部長

(1) 県道岡崎幸田線の2期拡幅整備事業は、岩堀交差点から熊野神社付近までの約450m、幅員16m、平成24年度の完了予定。事業費は、9億5000万

地域再生計画の取り組みは

- (1) 円が見込まれている。
- (2) 野場横落線は、県道交差部の家屋の移転および尾浜川の斜め横断架橋の問題点など、支障のないように対応したい。
- (3) 町道昆沙門10号線や岩堀郷中1号線の拡幅改良は、地元の理解・協力を得ながら事業の促進に努めたい。

問 国の新しい事業として町道3路線と、今後の下水道整備が決まった。その事業概要を問う。

(1) 道整備交付金の位置づけは、どのようなものか。

町道野場横落線や下水道整備

- (1) 数ある計画路線の中から、いかなる理由で3路線が事業化されたか。
- (2) 3路線名、幅員、延長場所、事業費は、
- (3) 本町の下水道（集排水）の普及率87%と高く、いままでの施行方法と、新しい地域再生法のちがう点はどこか。
- (4) 事業費、事業期間など。

建設部長

(1) 道整備交付金は、重要インフラである道路・農道・林道の一体的な整備をおこなう地域での再生をはかるものとされている。

- (2) 事業化可能な重要路線をリストアップし、協議・調整を重ねて、3路線に決定した。
- (3) 芦谷東山五反田線 145m、幅員7m。芦谷荻1号線 500m、幅員12m。野場横落線 630m、幅員12m。合計 1375m、幅員12m。
- (4) 事業費は、概算7億7000万円の予定。
- (5) 地域再生法に基づく下水道事業の推進と補助事業による推進には差異はない。
- (6) 対象事業費は、15億2880万円、合併浄化槽 180万円。



拡幅がたれる岡崎幸田線

いっぱん質問 その後 追跡

あの答弁は
どうなったの!



整備のはじまる駅西駐車場

平成16年6月定例会
成瀬克己議員

Q 駅西駐車場の駐車幅の
拡大を。

A 仮利用地を探し、早急
に対応する。

その後
afterward ①改修内容 第1駐車
場の舗装を一新し、

②仮利用地 駅南の町有地
を駅前区画整理事業実施
までの間、40台分の仮駐
車場として利用する。
③駐車台数は、従来より16
台増の407台となる。
④工事費および工期 約
3350万円、平成17年
12月末の完了予定。

平成15年6月定例会
山口文雄議員

Q 県道美合幸田線の路面
改修を。

A 県当局に強く要望して
改善をはかる。

その後
afterward 長嶺・久保田地内
の未改良部分は、約
700mあり、県当局
の対応には困難な面も
あったが、早期に事業が進
展した。

平成17年末の未改良部分
は約100mとなるが地元
関係者・地権者の深い理解
と協力をお願いしたい。

第3回臨時会 平成17年8月3日開催

審議された議案

- 工事請負契約について（幸田町一
般廃棄物最終処分場建設工事）

工事概要 処分場の本体造成土木
工事一式

契約金額 2億2,785万円

請負業者 株式会社大林組名古屋
支店

（全員賛成で可決）

- 工事請負契約について（幸田町一
般廃棄物最終処分場浸出水処理施
設建設工事）

工事概要 処分場の浸出水処理施
設建設工事一式

契約金額 3億5,154万円

請負業者 三菱レイヨン・エンジ
ニアリング株式会社豊
橋事業所

（全員賛成で可決）



整備中の美合幸田線

委員会レポート

総務

女性消防クラブの 設立

・8月23日協議会開催

職員給与の改定・災害備蓄倉庫の設置および女性消防クラブ（仮称）の設立が主な議題でした。

Q 勤務実績が反映される給与体系となるが、どのように運用するのか。
A 昇給の区分を5段階

とし、職員の勤務成績が適切に反映されるようにする。また、近隣市町との均衡を保ち、メリハリのある運用をはかりたい。
Q 地域防災計画により設置される小学校区単位の備蓄倉庫はどのようなものか。



活躍する岡崎市の婦人自主防災クラブ

防犯パトロール 先進地を視察

A 簡易トイレ・ガスコンロ・粉ミルクまでを含む災害備蓄品を収納する高床式防災コンテナを設置する。なお、地域の要望を聞いて、運用管理しやすいものとしたい。

Q 女性消防クラブ員の募集条件と任期について。
A 20～50代を目安として地域バランスを考慮し公募したい（各区2名、区長推薦）。任期は、特に定めていないが、3～4年を考えている。

7月25日から27日の3日間、茨城県土浦市・千葉県我孫子市および浦安市を視察した。

■茨城県土浦市「防犯パトロール」

県下で2番目に治安の悪かった本市は、自らの手で安全・安心な町づくりをしようと町内会に働きかけをおこない、現在、81町内会に自主防犯会（パトロール隊）が組織されて、活動をおこなっている。各町内会には、運動のきっかけづくりに、5万円の補助金が支給されているが、活動の成果は大きく、発生事犯は激



土浦市の青色回転灯車

減しているとのことである。
■千葉県我孫子市「公募型競争入札」

平成16年4月から実施されており、入札率の向上・透明性の確保には、期待どおりの成果がでている。

反面、入札期間の長期化・事務の複雑化などの問題点もあり、電子入札システムの導入を予定しているとのことである。

■千葉県浦安市「PFI」

新浦安駅前に、認可保育所・子育て支援その他の交流・支援施設が民間資本の導入と民間委託方式により建設されている。

産業建設

深溝運動場

計画まとまる

・8月19日開催の協議会の
主な内容

深溝運動場の事業計画は、平成17年度から19年度までの3年間で、3億2000万円かけ、ソフトボール場を配置した農村交流施設と農村公園施設をつくる。

Q 管理棟の建設計画は、

A 農水省補助事業は広場のみで、管理棟は他事業でおこなう。

Q 農免道路との交差点に信号はつけるのか。

A 交通量が少ないので、信号は設置しないが、交差点は広くとる。

・地域再生計画決まる

道整備交付金事業（芦谷東山五反田2号線、芦谷萩1号線、野場横落線）・汚水処理施設整備交付金の認可を受ける。

Q 芦谷萩1号線は、芦谷

インターチェンジとどのよう
に接続するか。

A 名豊道路と十字交差の計画である。

Q 野場横落線に民家が

あるが移転補償は、

A 家屋移転は2件あるが、地元説明をおこない地権者の理解を求めている。



深溝運動場の予定地

自然生態系農業や道の駅など視察

・8月8日から10日まで4市町を視察した。

■宮崎県綾町

「自然生態系」を生かして育てる町を基本理念とし「食の安全・健康保持・遺伝毒性を除去する」農法を推進し、地産地消の高まりから、公共施設や学校給食の食材のほとんどを町内で生産される自然生態系農産物で賄っている。

■宮崎県高岡町

道の駅「ビタミン館」は、町の直営事業で、役員は職員が兼務し、無報酬である。開設当初は4700万円の赤字だったが、質の高い



黒字に転換した道の駅

新鮮野菜・農産物加工品の品揃えや、新商品の開発などで経営改善し、平成16年は180万円の黒字に転換した。

■大分県日田市

昭和36年から「桃・栗植えてハワイに行こう」をキャッチフレーズに取り組んできた大山地区は、平均耕作面積45aで狭小のため、少量多品目による安定生産や、農産物加工で付加価値を高め知的集約農業をめざしている。

農家収入も、1000万円以上の収益をあげるなど努力されている。

文教福祉

中央公民館の 音対策を万全に

・8月18日協議会開催

今年度は弓道場建設、重層構造の幸田中学校体育館・中央公民館の基本設計と重要な事業を控えている。この協議会に先立ち、委員会として次の施設を視察し、また7月15日には調査会も実施して本協議会に臨んだ。

① 7月6日

・日進市 弓道場

・豊明市 福祉体育館

② 8月5日

・豊橋市立新川小学校

体育館

Q 弓道場の審判席、4畳は狭すぎないか。

A 弓道連盟と相談したが要望はなかった。

Q 矢取り通路に屋根を設けたら。またこの通路



音の対策が十分な新川小学校体育館(ボールで音の確認)

と矢道の間に防矢ネットの設置を。

A 屋根は当面考えていない。防矢ネットは設置

の方向で検討する。

Q 体育館・公民館の防音という点から、新川小学

校はボイドスラブ※厚75cm、当方計画は70cmこの点はどうか。

A 新川小はスラブ長が長い、当方は短かいため70cmとした。音への影響は少ないとのことであ

Q 公民館の工事中の利用については。

A 今後利用関係団体と調整する。教育相談室は旧消防庁舎の2・3階を考えている。

※ボイドスラブとは、遮音効果を高めるための構造床として鉄筋コンクリート造の建物に用いられる。

生ごみの資源化 施設の視察

8月20日から22日の3日間、宮城県3施設と、山形県の1施設を行政視察をした。

■白石市生ごみ資源化施設

生ごみ処理をバイオガス化により得られたガスは燃焼発電で電気。発生した熱は農業用ハウスなどへの供給する先端施設であった。

■山形県長井市生ごみ堆肥化施設

生ごみのリサイクル化事業として、有機物の資源化優良な堆肥で豊かな農地を再生し、そこから作られた安全安心な農産物を地元へ提供するために市民と行政

がパートナーシップで推進に取り組んでいた。

■古川市シルバー人材セン

ター

発足して以来20年、基本的理念である「自主、自立、共働、共助」をモットーに、時代の流れに合った事業展開で、高齢者の健康維持、社会参加の喜びや、貢献に取り組んでいた。

■仙台市学校法人北山学園
幼保一元化モデル事業

子育てでは、保育と教育の一体でおこなうべきとの方針で、幼稚園児187人、保育園児98人での子育て事業に取り組んでいた。



白石市の生ごみ資源化施設

7月8日、滋賀県竜王町の「自立推進計画」の策定と、地域再生のまちづくりの取り組みを視察研修した。竜王町は、人口1万3000人、面積は44.2km²で、農業を基幹産業として守っていくため、全町を市街化調整区域に指定してきた。竜王インターチェンジの優位性を活かし、誘致したダイハツ工業は県下2番目の工業生産額で税収の大きなウェートを占めている。

合併を否定するのではなく、当面は見送り、自立できるまちづくりを推進する。人口減少をくい止めるため、土地利用計画を見直し「地域再生のまちづくり」で町の発展をめざしている。

総合計画策定

竜王町の自立推進計画を視察

視察施設

- (1) 体験交流型農業公園
「アグリパーク竜王」
竜王町総合運動公園
(ドラゴンハット)
- (2) (ドラゴンスポーツセンター)



巨大な屋根付き運動場

9月30日、第3回定例会
最終日に「幸田町基本構想について」可決成立し、総合計画策定特別委員会は任務を終了した。

町の基本構想さまる

10年後を目標年度に

— 5万人規模を展望した都市づくりを進める —

第1章 目標年度

基本構想の目標年度は、平成27年度(2015年)とします。

第2章 まちづくりの基本理念と将来像

「住んでよかった」と思うまち、「心地良い場所だな、住んでみたいな」と感じるまちづくりをすすめます。

〔基本理念〕

調和 自然の営みに学びながら、時代の変化を超えて持続する自然の恵み豊かな生活を築きます。

友情 住む人も訪れる人も笑顔であいさつ、助け合い、学び合い心豊かに生きがいのある地域を築きます。

発展 生活の基礎となる産業を発展させ、多くの人々が安心して定住できる活発な都市生活を築きます。

〔将来像〕

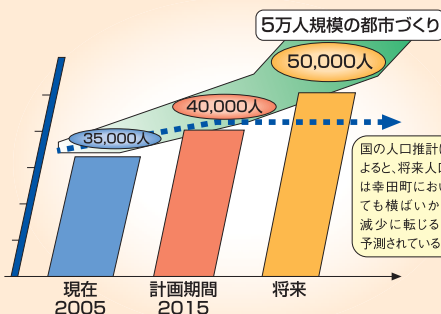
夢のある、心のかような活力あるまち、人と自然を大切にする緑住文化都市。

第3章 まちづくりの基本方針

1. 安全で快適な都市の基盤・生活の環境づくり
2. 環境と調和するまちづくり
3. 多様な産業が育つまちづくり
4. 健康・福祉のまちづくり
5. 地域文化・人づくり
6. 健全な行財政による確かなまちづくり

第4章 将来人口規模

私たちのまちが、周辺自治体と連帯や交流を図りながら、「自立した都市」として発展していきます。



ことを目標として、将来5万人規模を展望した都市づくりをすすめます。

第5章 土地利用構想

緑豊かな農村的特長と活力ある都市的特長の両面を合わせもつ町の特性を活かし、自然系・農業系の土地利用と住居系・商業系・工業系の土地利用が調和する土地利用をすすめます。

第6章 施策の大綱

第7章 推進体制

1. 町民と行政との協働の仕組みづくりをすすめる
2. 自立した地域経営の仕組みづくりをすすめます。



「大草区」
羽根渕恵子さん

この町で生まれ育ち、早や四十?年経ちました。家の前を国道248号が通り、コンビニ・スーパーができ、昔、山だった場所に、町民会館・図書館・プールができました。そこでイベントをしたり、芸能人がやって来るなんて、子どもの頃には思いもしなかった

た地域の変わりようです。町が活気に満ちてきています。私は、スポーツを通じていろんな年齢層の人たちに出逢いました。スポーツをしている人の顔は、年齢に関係なく生き生きとして楽しそうです。私の両親は、町民会館の芝生広場ヘグラ



わが町を思う

I LOVE MY TOWN

いつまでも

活気ある町で

ウインドゴルフを楽しむに出かけます。こういう場所や仲間にも恵まれてできることは、幸せだと思えます。いつまでも元気で過ごせる環境であってほしいものです。

編集 後記



「自然の叡智」をテーマにした愛・地球博(愛知万博)は9月25日、185日間の日程で、2200万人の思い出を刻んで閉幕した。幸田町も9月22日、町村デー最後の自治体として参加し、「幸田町のパワー」を場内に響かせ、ページを飾った。万博は華やかに終宴を遂げましたが、わが議会

だよりチームは船出してまだ2作目。読者の皆さまに議会の内容をより詳しく、分かり易く表現して伝えようと、全員での反省会、編集手法の講習会参加と旺盛な向上心で、今回の編集をおこないました。いかがでしたでしょうか。ご意見をお待ちしています。(鈴木三津男)



「芦谷区」
黒柳 諭さん

某ハ還暦ヲ過ぎテモ町内ニ住ム「井の中の蛙」ニ候小学校ヲ卒業シタ某ノ仲間ハ五十四人 県外ハ一名 後ハ町内ト周辺ニ住ム蛙ニ候 今日モ蛙語ノ会話「オエ、ヤット会わんかったノン。何やとたダア。」「ホシナコタ、ネエゼエ。」「オレン等のツレは、金が儲かったチュウカ、出世し

たチュウは、おらんノン。」「太平洋戦争真つ只中に生まれたダラア。父親がオランのが十名くらいオツタゼホイデモ家は建てたし、離婚チュウ話しも聞かんで、コイデ、いいじゃんカ。」一生、井の中ちゅう訳にはイカンノン。死は病院ダラ、火葬場も、ネエゼエ。」「ノンホウ。オトマシイコト言

井の中の蛙

うな。いつまでもオマントウと話せるダラ。平凡でいいガヤ。」「ホダナ。」と。



あなたも議会を傍聴してみませんか

12月議会の本会議は、下記のとおりの予定で。

●会期の日程

- 2日(金) 開会、議案の説明
- 7日(水) 一般質問
- 8日(木) 一般質問
- 9日(金) 議案の質疑
- 12日(月) 議案の質疑
- 26日(月) 討論、採決、閉会

●場所 役場5階 議場

●時間 午前9時から

◎詳しくは議会事務局へ ☎63-5151(直通)